

主催 日本動脈硬化学会 教育・研修委員会

後援 日本超音波医学会、血管診療技師認定機構

## 第18回診断技術向上セミナー報告

日本動脈硬化学会教育・研修委員会では、教育研修事業の充実と啓発活動の一環として、動脈硬化性疾患の診断・治療における無侵襲検査の重要性を広く啓発し、より臨床に重点を置いたセミナーを毎年2回開催しています。セミナー内容が高く評価され、(社)日本超音波医学会 認定超音波専門医資格更新単位ならびに超音波検査士資格更新単位がそれぞれ5単位、(社)血管診療技師(CVT)認定資格更新単位が5単位付与されます。さらに、日本動脈硬化学会認定動脈硬化専門医資格更新単位も日本動脈硬化学会総会・学術集会参加における単位とは別に5単位が取得できます。

今回の第18回診断技術向上セミナーは、第49回日本動脈硬化学会総会・学術集会(会長 松本昌泰 JCHO星ヶ丘医療センター・広島大学名誉教授)期間中の7月6日(木)、松本会長のお世話によりグランドプリンスホテル広島で午前8時55分から午後5時00分まで開催されました。例年と変わらず多くの皆様にご参加頂き、学会員を含めて200名を超えました。今回も一日でのセミナー開催となり、午前はメディカルスタッフセッションとして教育講演とフィルムリーディングを開催しました。教育講演では、動脈硬化診療に関わっていただいている検査技師、放射線技師、理学療法士、管理栄養士の



実技指導



講演

先生から、各病院や地域での取り組み、職種に応じた取り組みについて語っていただきました。いずれの先生も動脈硬化診療における重要な位置づけを示していただきました。フィルムリーディングセッションでは、1つの指定演題と3つの公募演題を提示していただき、いずれも興味深い画像を提示していただきました。それぞれ工夫を凝らしたプレゼンテーションであり、甲乙付けがたい内容でした。厳選なる審査の上、最優秀演題1題（島根大学病院 野津 泰子先生）、優秀演題2題（東北大学病院 三木 俊先生、北播磨総合医療センター 久保田 義則先生）が選ばれました。午後からは、実地医家セッションとして、頸動脈エコーと血管機能検査（FMD、ABI）をテーマに教育講演とライブデモを行っていただきました。頸動脈エコーでは実地医家が外来で用いることのできる動脈硬化のスクリーニング法について解説していただき、血管機能検査ではFMDおよびABIを外来診療に用いる意義、検査時の注意点などについて講演していただきました。また、いずれもライブデモを行いました。今回も会場で聴講されている先生にご登壇いただき、実際に検査していただくという試みを行い、いずれも非常に好評でした。ハンズオンセミナーは、「明日から使える！動脈硬化非侵襲診断法の実技指導」として、頸動脈エコー、下肢動脈エコー、腎動脈エコー、ABI、FMD、下肢静脈エコーセッションを開催しました。今回のハンズオンは自由参加としましたが、非常に多数の方が興味を持って会場に来られていました。長時間のセミナーにもかかわらず、参加者の方は、みなさん最初から最後まで熱心に受講されました。



授賞式



ハンズオン

第19回診断技術向上セミナーは、第58回日本脈管学会総会（会長 古森 公浩 名古屋大学大学院医学系研究科血管外科学分野教授、名古屋国際会議場、2017年10月19日（木）～10月21日（土）、<http://www.congre.co.jp/58jca/index.html>）にあわせて10月21日（土）午前9時～17時、名古屋（会場未定）で開催予定です。セミナー内容が決定次第、日本動脈硬化学会のホームページ（URL：<http://www.j-athero.org/>）とNews and Scopeにてお知らせいたします。

CVT 認定機構は、日本血管外科学会、日本脈管学会、日本静脈学会および日本動脈硬化学会の4学会構成による血管診療技師[CLINICAL VASCULAR TECHNOLOGIST (CVT)]の認定機構です。CVTは、脈管疾患の無侵襲診断及びその介助から、医師による侵襲的診断・治療の介助まで脈管領域の診療にコメディカルとして関わる専門家として診療レベルを高め、バスキュラーラボの発展に寄与していくことを目的としています。

当委員会でもこれらの学会と共同で、動脈硬化性疾患の診断技術の普及と向上に寄与できるよう、日常診療に即したより実践的な動脈硬化性疾患の画像診断・治療への応用に関するセミナーを充実し、皆様にご提供してまいりたいと存じます。会員の皆様には会員割引を実施しておりますので、血管疾患のエキスパートとなる臨床検査技師、看護師、臨床工学技士、理学療法士等の育成やバスキュラーラボの開設を考慮される先生方、動脈硬化性疾患の無侵襲診断にご興味のある先生方ならびに診療知識のUp-to-Dateのための認定動脈硬化専門医資格更新が必要な先生方は、是非ご参加ください。また、研修医ならびに実地医科の先生方のスキルアップにもつながるセミナーですので、周囲の先生方にも是非ご紹介ください。

最後ではありますが、本セミナーの開催に際しご後援をいただきました日本超音波医学会、血管診療技師認定機構、ライブデモ・ハンズオンの開催に際し多大なご協力・共催をいただいた、東芝メディカルシステムズ（株）、GEヘルスケア・ジャパン（株）、

(株) 日立製作所、(株) ユネクス、フクダ電子(株)、運営にご協力いただいたア  
スリード(株)をはじめ、関係者の方々に深く感謝致します。

教育・研修委員会

濱口 浩敏